

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	人格の尊重(一人の個性を持った人であること、それぞれに思いがあること、人生の先輩であることなど)や誇りやプライバシー(子ども扱いしない、プライドを傷つける言動をしない、羞恥心に配慮するなど)に対して、なじみの関係が行き過ぎることがあり、介護職であることへの意識の向上が必要です。	いつでもどこでも普通に人格を尊重した言動が出来たり、誇りやプライバシーを損ねない対応ができるようになります。	グループホームの機能と役割の正しい理解や、認知症の症状やその対応について「学んで活かす」ことができるよう、日々のディスカッションや感染症に留意しながら研修への参加を積極的に行います。	12ヶ月
2	47	新型コロナウイルス感染症の感染予防に重きを置き、外出の機会を減らしてしまっていました。	感染予防に留意しながら、地域へ出る・社会資源を活用し、ご利用者の心と体の健康を促します。	3密を避けながら、季節を感じられる外出や個々の好みに応じた外出を実施します。その際には、ご利用者と職員が共に楽しんだり懐かしんだりできるよう、企画します。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。